

**3**  $0 < a < 1$  とし、関数  $f(x)$  を

$$f(x) = \frac{a}{8}(x-1)^2 + \frac{2}{a} - 3$$

と定める.

また、関数  $g(x)$  を次のように定める. 整数  $n$  に対し、

$$2n \leq x < 2n+1 \text{ のとき} \quad g(x) = x - 2n$$

$$2n+1 \leq x < 2n+2 \text{ のとき} \quad g(x) = -x + 2n+2$$

とする.

(1)  $x \geq 4$  において  $f(x) > g(x)$  を示せ.

(2)  $\frac{1}{2} < a < \frac{2}{3}$  とする. 座標平面上の  $y = f(x)$  のグラフと  $y = g(x)$  のグラフの  $x \geq 0$  の範囲における共有点の個数を求めよ. (26 東大・文科)

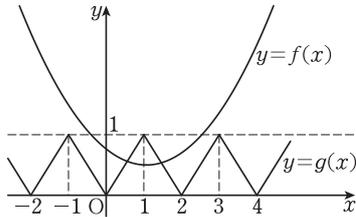
**3** **数学I** 【2次関数】 **標準**  
 《地道に危ないところを調べる (B30)》

▶ **解答** ◀ (1)  $g(x)$  は周期 2 の周期関数であり

$$0 \leq x \leq 1 \text{ において } g(x) = x$$

$$1 \leq x \leq 2 \text{ において } g(x) = -x + 2$$

であるから、 $y = g(x)$  は図のように  $y = 0$  と  $y = 1$  を往復するジグザグとなる.



$4 \leq x \leq 5$  のときはギリギリそうだから慎重になる必要がある. 後回しにする.  $x \geq 5$  では余裕がありそうだから、まず  $x \geq 5$  において  $f(x) > 1$  であることを示す.  $0 < a < 1$ ,  $x \geq 5$  においては、相加・相乗平均の不等式を用いると、

$$\begin{aligned} f(x) &\geq \frac{a}{8}(5-1)^2 + \frac{2}{a} - 3 \\ &= 2a + \frac{2}{a} - 3 \geq 2\sqrt{2a \cdot \frac{2}{a}} - 3 \\ &= 2 \cdot 2 - 3 = 1 \end{aligned}$$

(相加・相乗平均の不等式の等号は  $0 < a < 1$  では成立しない) であることから、 $x \geq 5$  では  $f(x) > 1 \geq g(x)$  であることが示せた.

次に、 $4 \leq x \leq 5$  のときを示す. この範囲では  $g(x) = x - 4$  である. このとき

$$\begin{aligned} f(x) - g(x) &= \frac{a}{8}(x^2 - 2x + 1) + \frac{2}{a} - 3 - x + 4 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &= \frac{a}{8} \left\{ x^2 - 2 \left( \frac{4}{a} + 1 \right) x \right\} + \frac{a}{8} + \frac{2}{a} + 1 \\ &= \frac{a}{8} \left\{ x - \left( \frac{4}{a} + 1 \right) \right\}^2 - \frac{a}{8} \left( \frac{4}{a} + 1 \right)^2 \\ &\quad + \frac{a}{8} + \frac{2}{a} + 1 \dots\dots\dots \textcircled{1} \end{aligned}$$

$0 < a < 1$  のとき、この軸  $x = \frac{4}{a} + 1$  は 5 より大きいから、 $4 \leq x \leq 5$  においては  $f(x) - g(x)$  は  $x = 5$  で最小値をとる. 上で示したことより、 $x = 5$  のとき  $f(5) - g(5) > 0$  であるから、 $4 \leq x \leq 5$  においても  $f(x) > g(x)$  である.

(2)  $\frac{1}{2} < a < \frac{2}{3}$  のとき、頂点の  $y$  座標は

$$\frac{\frac{2}{2}}{3} - 3 < y < \frac{\frac{2}{1}}{2} - 3 \quad \therefore 0 < y < 1$$

である. これより、 $0 \leq x \leq 1, 1 \leq x \leq 2$  にそれぞれ 1 つずつ共有点をもつ. あとは、 $2 \leq x \leq 3, 3 < x \leq 4$  で共有点をもつかを調べる

•  $3 < x \leq 4$  に共有点をもつ条件は

$$\begin{aligned} f(3) &< 1 \\ \frac{a}{2} + \frac{2}{a} - 3 &< 1 \quad \therefore a^2 - 8a + 4 < 0 \end{aligned}$$

$\frac{1}{2} < a < \frac{2}{3}$  も合わせると、 $4 - 2\sqrt{3} < a < \frac{2}{3}$  ..... $\textcircled{2}$  であり、このとき  $2 \leq x \leq 3$  にも共有点をもつ.

•  $2 \leq x \leq 3$  において、 $y = f(x)$  と  $y = x - 2$  が共有点をいくつもつか調べる.  $\textcircled{1}$  を見ると、 $f(x) - g(x)$  の軸は  $x = 1 + \frac{4}{a}$  であり、 $\frac{1}{2} < a < \frac{2}{3}$  において、軸は  $1 + \frac{4}{\frac{2}{3}} = 7$  より大きいから、 $2 \leq x \leq 3$  における

$f(x) - g(x)$  の最小値は

$$f(3) - g(3) = f(3) - 1$$

となる. これより、 $2 \leq x \leq 3$  で共有点もち、

$3 < x \leq 4$  では共有点をもたない条件は、 $(3, 1)$  が共有点となる  $f(3) - 1 = 0$ ，すなわち  $a = 4 - 2\sqrt{3}$  である。  
よって、(1) も合わせると、 $y = f(x)$  と  $y = g(x)$

の  $x \geq 0$  における共有点の個数は

$\frac{1}{2} < a < 4 - 2\sqrt{3}$  のとき **2 個**

$a = 4 - 2\sqrt{3}$  のとき **3 個**

$4 - 2\sqrt{3} < a < \frac{2}{3}$  のとき **4 個**